

江戸の名残を伝える

歌舞伎座界隈からレトロモダンな

近代建築を巡り、数寄屋橋の新名所、

東急プラザ銀座へ。

昔懐かしい銀座と新しいGINZAに出会う

小さな旅に出かけてみよう。

昭和懐古と

アートのスペース巡り

銀座逍遙



1. 1階の片隅でウィーン世紀末のガラス器を常設展示し、その魅力を紹介
2. ギャラリー代表の川崎力宏氏。学芸員とともに企画展を開催する
3. 銀座に残る数少ない古い建物のひとつ、中央区近代建築100選に指定されている
4. 日本建築らしい杉板の天井と吹き抜け空間のある1階メインギャラリー
5. 85年の時を経た、温かみを感じられる居心地のよいアート空間

銀座レトロギャラリーMUSEE

ぎんざれとろぎゃらりーミュゼ ☎03-6228-6694 中央区銀座1-20-17 川崎デザインブランドビルディング

🕒11~18時 🌞月・火曜 🆓無料

🚶東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅から徒歩3分、または都営浅草線宝町駅から徒歩3分

2012年、「銀座レトロギャラリーMUSEE」をオープン。建築の魅力を最大限に引き出すべく、時間軸や都市景観をテーマにした企画展を、学芸員とともに美術館スタイルで開催している。

「戦災を免れ、85年間銀座を見守り、たくさんの方の想いが込められたビルなので、オリジナルの良さが引き立つよう改修しました。建物の見学だけでも気軽に立ち寄ってもらえたら」と川崎さん。

1階奥の古い扉は、裏側がピントクの「どこでもドア」。過去から未来、新しいアートへといざなう扉になっている。玄関前には以前入居していた割烹料理屋の女将が苗木から植えた椿と紅葉が、ビルと一緒に時を重ねている。

昭和7年建築の奥野ビル（銀座一丁目）、昭和5年建築のヨネイビル（銀座二丁目）も訪れてみたい。奥野ビルは民間の建物として初めてエレベーターが設置され、ギャラリーや画廊が入るアトビルとして親しまれている。

ヨネイビルは中世ロマネスク風の建築。洋菓子のアンリ・シャルパンティエが入っており、店内やカフェのインテリアもエレガントだ。「銀座産ハチミツマドレーヌ」は銀座店ならではの菓子で、お土産にもいい。



奥野ビル

昭和7年建築当初は銀座アパートメントと呼ばれた。設計は、同潤会アパートを手がけた川元良一



夜の銀座中央通り。右手は銀座一丁目交番、向かいには「銀座でいちばん幸せな場所」をコンセプトにした複合施設・キラリギンザがある



ヨネイビル

らせん模様の柱がアーチ窓をふちどる、昭和初期のモダンなビル。東京都選定歴史的建造物

寛永元年(1624)、初めて江戸歌舞伎が興行されたことを記念する碑



江戸歌舞伎発祥の地



1. 4尾の海老を使った「海老フライサンドイッチ」2000円
2. 渋谷や丸の内にある人気店VIRONのパン職人による食パン専門店

セントル ザ・ベーカリー

☎03-3562-1016 / 03-3567-3106 (レストラン) 中央区銀座1-2-1東京高速道路紺屋ビル1F ☺パン販売10~18時。レストラン、サンドイッチのテイクアウトは11~20時(19時L.O.)、食パンは売り切れ次第終了 ㊟なし ㊞東京外口有楽町線銀座一丁目駅から徒歩1分



銀座発祥の地

銀座の名はこの地に銀貨の鋳造所があったことに由来



京橋親柱とガス灯

大正11年に架け替えられた京橋の親柱は照明付

銀座の歴史を語る
失われた橋と記念碑

銀座一丁目交番の近く、京橋と銀座の境を通る高速道路の高架下付近には「江戸歌舞伎発祥の地」の碑がある。江戸歌舞伎が初めて上演されたのは、寛永元年(1624)。猿若勘三郎が中橋(日本橋と京橋の間にあった橋)で、猿若座(後の中村座)の櫓を上げたのが始まりといわれている。

すぐそばには「京橋大根河岸青物市場跡」の碑も。ここを流れていた京橋川の埋め立てに伴い「京橋」も撤去され、その親柱が3基残されている。銀座一丁目交番の大きなとんがり屋根は京橋の親柱のひとつで、大正期に造られたものをかたどっている。一帯は3月下旬に「おもてなしの庭」として再生する予定だ。

銀座のメインストリート、銀座通り(中央通り)はかつての東海道。ティファニービルの前には「銀座発祥の地」の碑がある。銀座の由来は、江戸時代に幕府の役所として銀貨を鋳造する座が置かれたことから。銀座は通称だったが、明治2年(1869)、正式に町名となった。

桜通りと西銀座通りが出会う角、高速道路の真下にあるのが食



泰明小学校

明治時代には島崎藤村や北村透谷がここで学び、その記念碑が建つ



数寄屋橋公園

「若い時計台」の背後に、隣接する泰明小学校の外壁が見える

昭和の古い写真で振り返る、懐かしの銀座



上空より数寄屋橋方面一望。銀座は関東大震災後の復興でモダンな町に(帝都復興記念帖/昭和5年刊)



東京劇場の屋上から見た歌舞伎座。大正13年竣工の第三期の建築(大東京名所絵はがき/昭和7年)



外堀川に架かる数寄屋橋から銀座方面を見る。昭和のネオンが懐かしい(昭和31年)

写真/中央区立京橋図書館所蔵

パン専門店、「セントル ザ・ペーカリー」。食パンを買い求める人の長蛇の列が銀座の風景の一部になっている。販売は3種の食パンのみ。店内の工房で30分おきに焼き上がり、併設のレストランで焼きたての食パンやサンドイッチを食べられる。「東京の中心で、本当においしい食パンを提供したい」と、洋食の聖地、銀座で食パン文化を発信し続けている。

数寄屋橋は銀座と有楽町をつなぎ、江戸城の旧外濠に架けられていた橋。昭和27〜29年(1952〜54)に放送されたラジオドラマ「君の名は」で、主人公春樹と真知子がこの橋の上で再会を約束し、当時の東京の新名所になった。だが、外堀が昭和34年(1959)に埋め立てられると橋も姿を消す。数寄屋橋公園にはラジオドラマを書いた劇作家の筆による「数寄屋橋の碑」が建つ。ここには岡本太郎作の「若い時計台」もある。公園に隣接する泰明小学校は、明治11年(1878)の開校で、現在の校舎は関東大震災後の昭和4年(1929)の再建。東京都の歴史的建造物に指定されている。アーチ窓やカーブを描く壁面

昭和の「君の名は」人気で名所になった数寄屋橋

など当時はさぞかしハイカラな小学校だっただろう。優美な門扉は南フランスの貴族の館で使用されていたもの。

約400年の歴史があり、日々変貌を遂げる銀座で、かつてないスケールで登場する新スポットにも注目したい。

そして、2017年4月20日には、銀座六丁目の松坂屋跡に「GINZA SIX」が誕生。国内外の有名ブランドが約240も集結するほか、能楽堂、屋上庭園、観光施設などを備えた、銀座エリア最大級の複合施設だ。

2016年にオープンした東急プラザ銀座は、江戸切子をモチーフにした外観で数寄屋橋の新名所になっている。約27mの大吹き抜け空間の6F「KIRIKO LOUNGE」は、屋上の「KIRIKO TERRACE」とともにパブリックスペースになっており、コンサートなどのイベントも行われる。

キリコラウンジに併設する「数寄屋橋茶房」では、銀座の日本料理店「六雁」の秋山能久総料理長がメニューを監修。和のテイストのスイーツや、野菜をふんだんに使ったランチも味わえる。再開発で変わりゆく銀座の風景を眺めながら、ゆつくりとティータイムを楽しむのもいい。



緑豊かな屋上のオープンテラス「KIRIKO TERRACE」(上)と切り子デザインの窓から銀座の街を眺められる「KIRIKO LOUNGE」



KIRIKO LOUNGE

キリコラウンジ

☎03-3571-0109(インフォメーションデスク、11～21時)

中央区銀座5-2-1東急プラザ銀座6F

☎11～23時(日曜・祝日は～21時)

Ⓜ不定休 Ⓜ無料

数寄屋橋茶房

すきやばしきぼう

☎03-6264-5590

中央区銀座5-2-1東急プラザ銀座6F

☎11～23時(日曜・祝日は～21時)

フードは～21時L.O.

(日曜・祝日は～20時L.O.)、

ドリンクは～22時30分

(日曜・祝日は～20時30分L.O.)

Ⓜ不定休

「茶房の三甘味」(白マカロン、求肥餅、あんこが包まれたトリュフチョコ)と本日のお水出し茶(セットで1200円)

江戸切子をモチーフに、光の器をイメージしたビル

東急プラザ銀座

🚉東京メトロ銀座線・丸ノ内線・日比谷線
銀座駅から徒歩1分、東京メトロ千代田線・都営三田線日比谷駅から徒歩2分、東京メトロ有楽町線有楽町駅から徒歩2分、JR有楽町駅から徒歩4分

